

魅力的な福祉の職場を発信するために 「就職支援担当職員向け「福祉の魅力を知る バスツアー」開催報告

本会経営者部会「人材に関する委員会」では、福祉人材確保を重要課題とし、さまざまな方々に、福祉の職場の魅力を発信しています。

その取り組みの一つとして、8月19日、一般大学や専門学校で就職支援を担当する教職員向けに、「福祉の魅力を知るバスツアー」を開催しました。日々、学生の就職相談やキャリア支援を行う方々に、仕事の魅力を知ってもらおうことが目的です。

当日は、こだわり満載の福祉施設を回る「横濱じっくりコース」成り立ちや取り組みが特徴的な2施設を回る「湘南コース」を同時開催。現場で活躍する職員がガイド役となり、移動のバスの中で



晴天に恵まれた中、各コースでは(福)若竹大寿会・(福)吉祥会・(福)翔の会の運営施設を訪問しました(写真左)

テーションを経て、福祉施設を訪問しました。各施設で提供されている食事やおやつを食べながらの交流では、職員のやりがいや楽しみから、採用のポイントや人材育成方法、サービスや建物のこだわり、給与・待遇など幅広い話題が飛び交いました。

参加者からは、真心の込められたおもてなしに、「さまざまなキャラクターの学生が活躍できそう」「仕事も生活も楽しんでいる様子が印象的だった」「改善や努力を惜しまない真摯な姿勢に感動した」といった感想がありました。

個性豊かな職員が輝くことのできる福祉の職場と、職場づくりに向けた経営努力など、さまざまな角度から福祉の仕事の魅力を伝えるバスツアーとなりました。

経営者部会では、実際に福祉の職場を体感できる機会の創出と、各法人の魅力を発信するため仕組みづくりに今後力を入れ、福祉職場のイメージアップを図ることで、より一層「選ばれる職場」となるよう取り組んでいきます。

(ライフサポート担当)

「なじんでも染まらない、フレッシュな心」を持って 「福祉人材現任者研修」「新任職員研修」の取り組みから

本会福祉研修センターでは、5月7月の間、「新任職員研修(各2日間・全5コース)」を実施しており、本年度は218人の方々が受講されました。

本研修には、すべての分野・職種に共通する福祉従事者としての基本姿勢を伝えていくというねらいがあり、対象は「入職1年未満の職員」とし、業務内容や役割は問わずに受講を呼び掛けています。

全2日間の研修課程では、「新任職員の心構え」「より良い支援の実現に結びつけるために」をテーマに学びを深めます。昨年度の参加者から、自分なりのストレス解消法を持って、休日も仕事のことを考えてしまうとの声が複数上がったため、「ストレスの自己管理」についての内容も新たに加えることにしました。

研修1日目の締めくくりには、職場で求められる職員像についてキャラクターフレーズを作成し、2日目までに、それぞれが意識して業務に取り組むことを課題としました。「なじんでも染まらない、フレッシュな心」をキヤッチフレーズにした方は、「理想の職員像を考えていくことで、『なりた



グループワークでは、新たな視点も見える場面も。お互いに質問する熱心な姿も目にしました。時には「お話し合いの場を張ろうな！」と励まされたいです。

くない像」も見えてきた」と感想を寄せています。新任職員の皆さんは、日々の業務に「なぜだろう」と素朴な疑問を持つことのできる「気づく人」であり、そうした気づきを共有していくことも大切です。

このような研修機会が、さまざまな福祉施設等で働く人たちとの出会いの場となり、仲間づくりや多くの情報を得るきっかけにもなっています。従事者としての原点を確認し合った仲間とのつながりは、長く働き続けるための礎にもなります。

本会では、福祉サービスの質の向上や職員の育成・職場定着に向けて、今後もさまざまな研修を実施します。ぜひご利用ください。

※研修の開催予定等は、本会ホームページ(<http://www.kosyok.jp>)に掲載しています

(福祉研修センター)